

はあとふる



Info. 6 人間関係の形成

本校では「一人一人がより豊かに学習や生活ができるようになる自立活動の授業づくり（令和7年度）」について校内研修を行っています。自立活動の学習指導要領を基に、研修部で研修ツールを作成し、取り組んでいます。今回は「人間関係の形成」についての指導例を紹介します。

(1) 他者とのかかわりの基礎に関すること		自立活動編 P.67
▲他者とかかわる方法が十分に身に付いていない。	○身近な教師とのかかわりから、少しずつ教師との安定した関係を形成する。 ○やりとりの方法を大きく変えずに繰り返し指導するなどして、そのやりとりの方法が定着するようにし、相互にかかわり合う素地を作る。	
(2) 他者の意図や感情の理解に関すること		自立活動編 P.69
▲言葉や表情、身振りなどを総合的に判断して相手の思いや感情を読み取り、行動することが困難。	○生活上の様々な場面を想定し、そこでの相手の言葉や表情などから、相手の立場や相手が考えていることなどを推測するような指導を通して、他者とかかわる際の具体的な方法について身に付けるような指導をする。	
(3) 自己の理解と行動の調整に関すること		自立活動編 P.70
▲過去の失敗経験等の積み重ねにより、自分に対する自信が持てない。 ▲自分の長所や短所に関心が向きにくい。自己理解が困難。 ▲同じ失敗を繰り返したり、目的に沿って行動を調整したりすることが苦手。	○本人が容易にできる活動を設定し、成就感を味わうことができるようにして、徐々に自信を回復しながら、自己に肯定的な感情を高めていくような指導をする。 ○体験的な活動を通して自分の得意なことや不得意なことの理解を促す。 ○自分の行動と出来事との因果関係を図示して理解させたり、実現可能な目当ての立て方や点検表を活用した振り返りの仕方を学んだりして、自ら適切な行動を選択し調整する力を育てていく。	
(4) 集団の参加の基礎に関すること		自立活動編 P.71
▲説明を聞き漏らしたり、最後まで聞かずに遊び始めたりし、ルールを十分に理解しないで遊ぶ。ルールを十分に理解していても、勝ちたいという気持ちからルールを守ることができない場合がある。	○ルールを少しずつ段階的に理解できるように指導したり、ロールプレイによって適切な行動を具体的に指導したりする。 ○遊びへの参加方法が分からないときの不安を静める方法を指導をする。	